

スタートアップ部門 まちづくり活動計画書

1 助成を受けようとするまちづくり活動について

団 体 名	覚王山コミュニティ・アーカイヴ	
まちづくり 活 動 名	覚王山商店街のビジュアル（写真・映像）アーカイヴの収集と活用を通じた商店街文化の醸成	
活 動 地 域	名古屋千種区「覚王山商店街」	
活 動 の 背 景	映像メディアに関する研究・実践をしている名古屋文理大学教員の青山太郎、コミュニティの形成について研究・実践している愛知淑徳大学教員の高森順子、覚王山商店街の活性化に取り組んでいるカフェ「note coffee house」オーナーの舟戸貴織が、商店街の新旧の店舗の交流と、組合活動の継続に関する課題を共有し、それぞれの知見を生かした課題解決のあり方を模索した結果、本申請の活動を開始することとなった。	
目的・目標	<p>■目的 覚王山商店街のビジュアル（写真・映像）アーカイヴの収集と活用を通じた住民相互の理解と、街の歴史の調査・記録による商店街文化の醸成</p> <p>■目標 ・覚王山商店街の春・夏・秋祭の様子を写真・映像記録として収集する ・上記で得られた記録映像を覚王山商店街で上映する</p> <p>■成果 ・映像上映会をつうじた覚王山商店街の新・旧店舗の相互交流の活性化 ・春・夏・秋祭の運営を中心とした組合活動の活発化</p>	
活 動 内 容	<p>1. 覚王山商店街のビジュアル（写真・映像）アーカイヴの収集 覚王山商店街では、商店街組合が運営主体となって毎年4月に春祭、7月に夏祭、10月秋祭を行なっている。その祭の様子を申請者、および名古屋文理大学で情報メディア学を専攻する学生が中心となって写真・映像として記録し、収集する「ビジュアルアーカイヴ」を行う。</p> <p>2. 覚王山商店街のビジュアル（写真・映像）アーカイヴの上映会の実施 1で得られたビジュアルアーカイヴを編集し、上映会を実施する。上映会には、覚王山商店街組合の関係者、および商店街にゆかりのある人々を招待する。上映会の運営にあたっては、申請者とともに、名古屋文理大学および愛知淑徳大学の学生ボランティアがサポートする。</p>	
活 動 予 定 期	2019年 4月 ～ 2020年 3月	
助成金交付 申 請 額	50,000 円	※1回目（上限5万円） ※2回目、3回目（上限10万円）

2 まちづくり活動の視点

以下の視点で活動内容についてご記入ください。

審査基準① 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・活動の実施にあたって、まちづくり活動助成金が必要な活動か ・活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か
	<ul style="list-style-type: none"> ・本活動が対象とする覚王山商店街の春、夏、秋祭は、覚王山商店街振興組合が運営主体となって約 20 年間続いているものであり、町の風物詩となっている。しかし、祭の運営に主体的に関わる関係者は高齢化しており、一昨年はその開催が危ぶまれた。本活動によって、祭の大切さを商店街関係者に改めて認知してもらい、祭の運営に関わる人々を増やしたいと考えている。 ・上記のように、祭の継続開催が危ぶまれた要因の一つは、商店街に古くからある店舗と、新たに参画してきた店舗の交流不足にあると考えられる。本活動で得られた祭の映像記録を皆で見る上映会を開くことは、新・旧の店舗がお互いを理解し、商店街の文化の醸成を共に目指すきっかけとなる交流をつくることができると期待される。
審査基準② 実現性	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容が具体的になっているか ・活動内容の資金計画などは妥当か ・人員や規模などは妥当か
	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトは 2019 年 4 月より既にスタートしており、4 月 6 日、7 日に開催された春祭は名古屋文理大学、愛知淑徳大学の学生とともに写真、映像の記録を行なっている。 ・上記の春祭の編集済の映像記録は覚王山商店街振興組合の理事の方々に見ていただき、好評を得ており、プロジェクトを進めることに了解をいただいている。 ・必要機材等は当面の間、申請者が関わる大学で貸与されることとなっており、映像記録活動に関わる学生も確保できている。
審査基準③ 発展性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか ・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか
	<p>(活動の発展性について、上記観点から分かりやすくご記入ください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祭を写真、映像記録として残し、上映会で商店街に関わる人々に見てもらうことにより、祭の重要性を改めて認識してもらい、安定した継続を図ることに寄与する。 ・次年度からは、祭だけでなく、商店街の日常風景の撮影や、各店舗のオーナーやスタッフのインタビューなども行い、ビジュアル(写真・映像)とテキスト(文章)の両面からデジタルアーカイブの充実を図る。それにより、新旧の商店街関係者がお互いを理解することに寄与し、商店街文化を醸成することを目指す。さらに、インターネットを介した情報発信にも同アーカイブを活用し、街の PR に繋げていく。

3 活動にあたり他団体(町内会、自治会他)、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等を取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
覚王山商店街振興組合	祭の様子の写真、映像を記録していることについて了承済み。映像上映も内部で既に実施済み(2019/04/12)。
名古屋文理大学映像デザイン研究室	申請者(青山太郎)の講義やゼミにおいて、プロジェクト参加者を募り、現在5名が参加を表明している(2019/04/03)
愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター	申請者(高森順子)の講義等で祭をサポートするボランティアを募集する(2019/5/31)

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

まちづくり活動の実施スケジュール

・活動の実施日だけでなく、それに向けた準備（団体の打合せ、広報）についても具体的に記入してください。

・1ページにおさまるように記入してください。

年	月	活動項目	活動内容
	4	活動実施1回目 打ち合わせとプレ上映会	覚王山春祭（4月6日、7日）の写真、映像記録活動の実施 覚王山商店街振興組合理事長、副理事長に対して映像記録を上映し、プロジェクト実施を了承いただく。
	5	申請書提出	
	6	打ち合わせ	夏祭の写真、映像記録活動の実施について打ち合わせ
	7	活動実施2回目	覚王山夏祭（7月27日、28日）の写真、映像記録活動の実施
	8	振り返り	夏祭の写真、映像記録の上映用編集映像のチェック、記録活動についての振り返り
	9		
	10	打ち合わせ	秋祭の記録活動に向けた打ち合わせ
	11	活動実施3回目	秋祭（11月初旬）の写真、映像記録活動の実施
	12	振り返り	秋祭の写真、映像記録の上映用編集映像のチェック、記録活動についての振り返り
		1	広報活動
2		活動実施4回目 活動の報告	春、夏、秋祭の記録映像の上映会を行う（実施予定場所：ルブラ王山） 活動実施報告書の提出
3		振り返り	次年度以降の活動について商店街振興組合を交えて協議

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

まちづくり活動の予算書

1 支出

計画書の活動における支出（予算）をご記入ください。

費目 手引きの費目を参照	活動項目	内訳・算出根拠	金額 (円)
まちづくり活動助成金（申請金額） ※活動経費の内、助成対象となる経費が対象です。 ※上限金額：1回目は5万円、2回目、3回目は10万円			50,000円
活動経費の内訳	消耗品費	用紙	用紙(A4普通紙) 1,200円
	消耗品費	プリンター用トナー	トナーカートリッジ(黒、1本) 8,800円
	物品費	写真・映像記録媒体	SDXCカード(64GB、4枚) 理由：複数人が同日程で撮影することを想定しており、それに対応する枚数を購入したいと考えています。 16,000円 (4,000円/枚)
	物品費	写真・映像記録媒体	HDD(1TB、2台) 理由：高画質の映像記録データが大容量になることが想定されることに加え、WEBを使った公開にそなえ、データのバックアップをとることが必要になるため、それに対応する台数の購入を考えております。 10,000円 (5,000円/台)
	賃借料	映像上映会会場費	ルブラ王山会議室(3時間分) 14,000円
支出合計			50,000円

※1ページにおさまるよう記入してください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。